

輝く女性への 突撃インタビュー

今回取材したのは、自営ワーママ☆クラブ代表の丹羽綾さん。女性専門の人気整体師として活動するほか、自営ワーママの輪拡大、ならびにその底力をまとめ企業や社会に還元することを目指して活躍しています。お仕事柄多くの女性と接する丹羽さんから、女性活躍を進める上でのヒントを、たくさん教えていただきました！

第一子出産を機に整体師へ大転換 モットーは「お客様との密な関係づくり」

弊社：丹羽様の主なご経歴を教えてください。

丹羽様：最初に入社した輸入建材商社では、英語力を活かし男女の差別なく責任ある仕事を任せてもらっていました。でも、2002年に長女を出産後、内勤へ転換したことから、出産前と比べて仕事をつまらなく感じるようになりました。そこで、自分自身の心身を整えるために通った整体で、顧客との密な関係を築いているところに心を奪われ、整体師を目指しました。その後、2006年に第2子出産を機に独立しました。そして、“仕事をするママを応援したい”との思いから2012年に自営ワーママクラブを立ち上げ現在に至っています。

女性ならではの視点による課題解決 信頼関係と意思の疎通でメンバーをまとめる

弊社：自営ワーママ☆クラブ設立の思いを教えてください。

丹羽様：ワーママ☆クラブは、女性ならではの視点をもった専門家集団です。世間では男性のコミュニティは多いですが、女性のプラットフォームを創りたいという思いがありました。メンバーはお互いに切磋琢磨しています。私がよく思うのは、「なぜ男性ばかり集まって、女性が購買決定権を持っている商品やサービスについて策を練っているのだろう。」ということです。女性の意見を少し聞けばすぐに解決することも多いものです。ワーママ☆クラブでは、女性の視点による課題解決で様々な企業のお手伝いもしています。来春には、企業案件の対応のために法人を設立する予定で、現在準備を進めています。

弊社：メンバーは女性ばかりですが、女性同士の人間関係で気を付けていることがあれば教えてください。

丹羽様：努力としては、お互いに信頼関係を構築することと意思の疎通を心がけています。メンバー同士の様子が少しでもおかしいなと感じたら、私もしくは運営スタッフがすぐに介入するようにしています。早期発見・早期治療（解決）が一番です。放っておくと溝は深まるだけですから。

目標設定は自分が70歳、80歳になった時 そのために今何をすべきかを心がけ、継続する

弊社：スタイルも良く、実年齢よりもはるかに若く見える丹羽さん。その若さの秘訣はなんですか。

丹羽様：毎日の体操とストレスを溜めないことでしょうか。あとは体調管理です。私は第一子出産後の体調是最悪でしたが、8年後に第三子を出産した時には絶好調でした。その間、自分を整えることを継続したからですが、毎日の積み重ねは大事だと実感しました。私のプライベートの目標は、将来70歳、80歳になって子どもたちの手が離れた時に、元気でたくさん旅行することです。

相手と価値観が合わないと成果が出ない 男性・女性の前に「私らしさ」を追求

弊社：これまでのキャリアにおいて最も自己成長を感じられたことや成功体験を教えてください。

丹羽様：整体師としては2年以上予約3ヶ月待ちの状態が続いており、「成功」と受け止めています。現在は、ワーママ☆クラブにおいて、女性のニーズを知りたい企業の男性から相談を受けることも多くなっています。男性に認めてもらえることはうれしく、心の充実を感じます。なお、男性に向けて話をする時には、特に“理論的に話すこと”と“私らしさを出すこと”を工夫しています。整体も仕事も、価値観が合わないとうまく成果が出ないのです。より自分をわかってもらえるような言動を心がけています。

弊社：たくさんの転機を乗り越えてきた丹羽さん。出産等のライフイベントによる変化をどう受け止めてきましたか。

丹羽様：第一子出産時は、体調も悪く、何一つ思い通りにならないと正直落ち込みました。でも第二子、第三子では、慣れと人の手を借りることを覚えたので楽でした。誰も一人で子育てできませんからね。

バランス・責任・安定の三本柱 仕事において責任から逃げないことが大切

弊社：丹羽さんが考える“ワーママ”として輝く秘訣はなんですか。

丹羽様：“バランス”と“責任”と“安定”の3つです。“バランス”はワークライフバランスの両立を考えること、“責任”は、責任ある仕事をもらうためには責任を負わなければならないということ。私自身、家でも外でもリスクやアクシデントから絶対逃げないようにしています。権利ばかり主張して責任を負わない女性がいることは非常に残念ですね。そして、頑張ろうと思ったら体調が良くないといけませんから、体調や精神の“安定”がベースとなり“バランス”と“責任”を支えるのです。

女性ならではの視点・センスを活かし、任せること 男性が自ら心を開くと、女性も心を開く

弊社：最後に、本ブログの読者に向けて女性活躍推進のアドバイスや応援メッセージをお願いします。

丹羽様：男性も女性も、男性的な女性を目指すのではなく、女性ならではの視点・センスを活かしてほしいと感じます。男性には、女性の価値を認め、思い切って任せてほしいですね。あと、セクハラにならずに女性と関係を築くコツですが、男性側から自分自身の家庭の話をする等まずは自ら心を開いていくことをお勧めします。日頃からの関係性がなければセクハラと捉えられてしまいます。ぜひ今日から実践してください。

